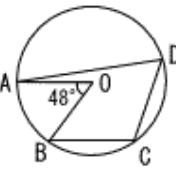
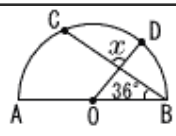
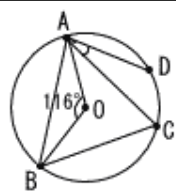
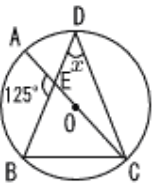
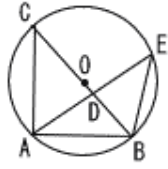
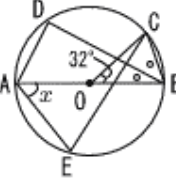
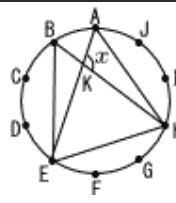
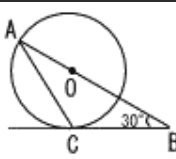
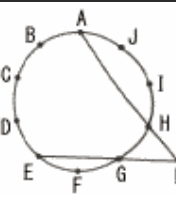


③ 図形		5 中心角・円周角	月 日 ()
1	愛知県立高校 (R 5年) ★	7	大阪教育大附属平野校舎 (R 5年) ★
図で、A,B,C,Dは円Oの周上の点で、$AO \parallel BC$である。 $\angle AOB = 48^\circ$のとき、$\angle ADC$の大きさは()度である。 		図のように、点Oを中心とし、ABを直径とする半円がある。この半円上に、$\widehat{AC} = \widehat{CD}$となるように点C,Dをとる。$\angle ABC = 36^\circ$のとき、$\angle x$の大きさを求めなさい。 	
2	明治学院高校 (R 4年) ★★	8	東京工大附属科技高校 (R 5年) ★
点Oは円の中心とする。$\angle x$の大きさを求めなさい。 		図において、4点A,B,C,Dは円Oの周上にある。$\angle BAD = 80^\circ, \angle ABC = 60^\circ, \angle AOB = 116^\circ$であるとき、$\angle CAD$の大きさを求めなさい。 	
3	土浦日大高校 (R 4年) ★★	9	中央大杉並高校 (R 4年) ★★
円Oの周上に4点A,B,C,Dがあり、線分ACは円Oの直径である。また、点Eは線分ACと線分BDの交点である。$\angle AEB = 125^\circ, \widehat{BC} : \widehat{CD} = 1:2$のとき、$\angle x$の大きさを求めなさい。 		半径9の円Oがあります。弦ABの長さを9に、点Dを直径BC上に$BD:DC = 1:2$となるようにとります。また、線分ADをDの方へ延長した直線と、円Oとの交点をEとします。さらに、点Aと点C、点Bと点Eをそれぞれ結ぶ線分をひくとき、  (1) 点Dから線分ABにおろした垂線の長さを求めなさい。 (2) 線分AEの長さを求めなさい。	
4	日大第二高校 (R 4年) ★★		
線分ABは円Oの直径である。$\angle BOC = 32^\circ$となる点Cを円周上にとる。また、$\angle ABC$の2等分線と円の交点をDとし、$AD \parallel ED$となる点Eを円周上にとる。 $\angle x$の大きさを求めなさい。 			
5	埼玉県立高校 (R 6年) ★	10	玉川学園高等部 (R 6年) ★
右の図のように、円周の長さを10等分する点A~Jがあります。$\triangle AEH$と$\triangle BEH$をつくり、辺AEと辺BHとの交点をKとすると、$\angle AKH$の大きさxを求めなさい。 		右の図において、線分ABは円Oの中心を通り、直線BCは点Cで円Oに接している。 円Oの半径が2cmで、$\angle ABC = 30^\circ$であるとき、線分ACの長さを求めよ。 	
6	江戸川学園取手高校 (R 6年) ★	11	大阪星光学院高校 (R 6年) ★★
右の図の点A~Jは、円周を10等分した点である。このとき、図の$\angle APE$の大きさを求めなさい。 		右の図において、$AE = \sqrt{6}$のとき、円の半径は[]で、$CE = []$である。 